

# 平成28年における労働災害発生状況

平成28年確定

北海道労働局労働基準部安全課

# 業種別労働災害発生状況 その1

平成28年1月1日～平成28年12月31日確定

北海道労働局

業種別	平成28年			平成27年			対前年		業種割合 (%)	平成27年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	77	6,537	6,614	65	6,503	6,568	46	0.7	100.0	65	6,503	6,568
製造業	7	1,220	1,227	7	1,180	1,187	40	3.4	18.6	7	1,180	1,187
食料品	1	638	639	2	620	622	17	2.7	9.7	2	620	622
木材・家具		107	107		106	106	1	0.9	1.6		106	106
紙・印刷	2	27	29		36	36	-7	-19.4	0.4		36	36
窯業・土石		46	46		40	40	6	15.0	0.7		40	40
金属・機械	2	213	215	4	203	207	8	3.9	3.3	4	203	207
その他	2	189	191	1	175	176	15	8.5	2.9	1	175	176
鉱業												
鉱山		1	1				1		0.0			
土石採取業	1	13	14	2	22	24	-10	-41.7	0.2	2	22	24
建設業	30	881	911	25	967	992	-81	-8.2	13.8	25	967	992
土木工事業	12	258	270	8	308	316	-46	-14.6	4.1	8	308	316
建築工事業	11	348	359	5	440	445	-86	-19.3	5.4	5	440	445
木造建築業	2	141	143	4	114	118	25	21.2	2.2	4	114	118
その他	5	134	139	8	105	113	26	23.0	2.1	8	105	113
交通運輸事業	1	263	264	3	236	239	25	10.5	4.0	3	236	239
陸上貨物運送事業	13	765	778	11	738	749	29	3.9	11.8	11	738	749
道路貨物運送	13	719	732	10	696	706	26	3.7	11.1	10	696	706
陸上貨物取扱		46	46	1	42	43	3	7.0	0.7	1	42	43
港湾運送業		9	9	1	11	12	-3	-25.0	0.1	1	11	12
林業	5	120	125	4	98	102	23	22.5	1.9	4	98	102
水産業	2	174	176		173	173	3	1.7	2.7		173	173
商業	4	956	960	4	926	930	30	3.2	14.5	4	926	930
清掃・と畜業		352	352	1	389	390	-38	-9.7	5.3	1	389	390
上記以外の事業	14	1,783	1,797	7	1,763	1,770	27	1.5	27.2	7	1,763	1,770

死亡災害については死亡災害速報、休業災害については労働者死傷病報告書(休業4日以上)による  
同期間中に把握した件数の前年同期の対比である。

## 業種別労働災害発生状況 その2

平成28年1月1日～平成28年12月31日確定

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	平成28年			平成27年			対前年		業種割合 (%)	平成27年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業	2	99	101	1	117	118	-17	-14.4	1.5	1	117	118
畜産業	3	249	252		222	222	30	13.5	3.8		222	222
金融・広告業	1	59	60		60	60			0.9		60	60
映画・演劇業		1	1		2	2	-1	-50.0	0.0		2	2
通信業		136	136		117	117	19	16.2	2.1		117	117
教育・研究業	1	53	54		41	41	13	31.7	0.8		41	41
保健・衛生業	2	564	566		548	548	18	3.3	8.6		548	548
接客・娯楽業	1	345	346	3	402	405	-59	-14.6	5.2	3	402	405
その他の事業	4	277	281	3	254	257	24	9.3	4.2	3	254	257
合計	14	1,783	1,797	7	1,763	1,770	27	1.5	27.2	7	1,763	1,770

「第三次産業」の内訳

業種別	平成28年			平成27年			対前年		業種割合 (%)	平成27年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	4	956	960	4	926	930	30	3.2	14.5	4	926	930
うち 小売業	3	783	786	4	763	767	19	2.5	11.9	4	763	767
金融・広告業	1	59	60		60	60			0.9		60	60
映画・演劇業		1	1		2	2	-1	-50.0	0.0		2	2
通信業		136	136		117	117	19	16.2	2.1		117	117
教育・研究業	1	53	54		41	41	13	31.7	0.8		41	41
保健・衛生業	2	564	566		548	548	18	3.3	8.6		548	548
うち 社会福祉施設	2	394	396		368	368	28	7.6	6.0		368	368
うち 医療保健業		150	150		164	164	-14	-8.5	2.3		164	164
接客・娯楽業	1	345	346	3	402	405	-59	-14.6	5.2	3	402	405
うち 飲食店		139	139		178	178	-39	-21.9	2.1		178	178
うち 旅館業		85	85	3	111	114	-29	-25.4	1.3	3	111	114
うち ゴルフ場	1	58	59		45	45	14	31.1	0.9		45	45
清掃・と畜業		352	352	1	389	390	-38	-9.7	5.3	1	389	390
その他の事業	4	277	281	3	254	257	24	9.3	4.2	3	254	257
うち 警備業	1	77	78		68	68	10	14.7	1.2		68	68
合計	13	2,743	2,756	11	2,739	2,750	6	0.2	41.7	11	2,739	2,750

# 平成28年における死亡災害発生状況 [速報]

平成28年1月1日～平成28年12月31日確定

北海道労働局

業種	平成28年		平成27年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	77 ( 21 )	100.0	65 ( 11 )	100.0	12	18.5	2	3.7
製造業	7 ( 0 )	9.1	7 ( 0 )	10.8	0	0.0	0	0.0
鉱業	1 ( 0 )	1.3	2 ( 1 )	3.1	-1	-50.0	0	0.0
建設業	30 ( 8 )	39.0	25 ( 3 )	38.5	5	20.0	0	0.0
交通運輸事業	1 ( 0 )	1.3	3 ( 1 )	4.6	-2	-66.7	-1	-50.0
陸上貨物運送事業	13 ( 11 )	16.9	11 ( 4 )	16.9	2	18.2	-5	-71.4
港湾運送業	0 ( 0 )	0.0	1 ( 0 )	1.5	-1	-100.0	-1	-100.0
林業	5 ( 0 )	6.5	4 ( 0 )	6.2	1	25.0	1	25.0
その他の事業	20 ( 2 )	26.0	12 ( 2 )	18.5	8	66.7	8	80.0

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の( )内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の把握件数であり、昨年については集計期間中の発生件数である。

# 平成28年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

平成28年1月1日～平成28年12月31日確定

北海道労働局

業種	平成28年		平成27年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	20 ( 2 )	100.0	12 ( 2 )	100.0	8	66.7	8	80.0
小売業	3 ( 1 )	15.0	4 ( 0 )	33.3	-1	-25.0	-2	-50.0
医療保健業	0 ( 0 )	0.0	0 ( 0 )	0.0	0	-	0	-
社会福祉施設	2 ( 0 )	10.0	0 ( 0 )	0.0	2	-	2	-
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	0 ( 0 )	0.0	0 ( 0 )	0.0	0	-	0	-
ビルメンテナンス業	0 ( 0 )	0.0	1 ( 0 )	8.3	-1	-100.0	-1	-100.0
ゴルフ場の事業	1 ( 0 )	5.0	0 ( 0 )	0.0	1	-	1	-
警備業	1 ( 0 )	5.0	0 ( 0 )	0.0	1	-	1	-
農業・畜産業	5 ( 0 )	25.0	1 ( 0 )	8.3	4	400.0	4	400.0
水産業	2 ( 0 )	10.0	0 ( 0 )	0.0	2	-	2	-
その他	6 ( 1 )	30.0	6 ( 2 )	50.0	0	0.0	1	25.0

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の( )内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の把握件数であり、昨年については集計期間中の発生件数である。

# 平成28年 死亡災害発生状況

## 平成28年1月1日～平成28年12月31日確定

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号		4号		5号		6-2号		7-2号		その他 の事業	合計													
	製造業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業																		
年別																													
平成18年	10	1		1	29	10	5	3		6	5	24	93																
平成19年	8		1		26	14	3	5		5	4	24	90																
平成20年	9	3		1	28	12	2	1		8	1	19	81																
平成21年	3	1			30	6	1	1	1	1	5	21	69																
平成22年	5				22	15	1	3	1	11	9	27	94																
平成23年	4	1		3	10	14	1		1	5	6	21	65																
平成24年	8				27	10	1		1	4	4	28	83																
平成25年	6			1	22	7	2		1	4	4	17	64																
平成26年	4			1	22	6	2			4	6	20	65																
区分 月別	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計					
平成 27 年	1月						2	2			1	1					1	1			1	1	5	5					
	2月					1	1	2		2	3							1				1	2	4	9				
	3月	2	2				1	3	1	1	3										2	4	6	15					
	4月		2				1	5	1	1	3						1	2				4	6	21					
	5月		2				1	9		1	3			1	1						3	7	5	26					
	6月		2				1	14		1	3	1	1									7	6	32					
	7月		2				1	15	1	2	3		1	1								2	9	5	37				
	8月		2				2	19		2	3		1	1								1	10	5	42				
	9月	1	3				2	21	1	3	3		1	1		1	3						10	5	47				
	10月	1	4				2	23	2	5	3		1	1		3							10	5	52				
	11月	1	5				2	25	2	7	3		1	1		4							10	6	58				
	12月	2	7				2	25	3	10	3		1	1		4						2	12	7	65				
平成 28 年	1月	1	1					2	2															3	3				
	2月		1					3	5	1	1												2	2	6	9			
	3月	1	2					5	1	2											2	2	4	13					
	4月	1	3					7	2	2												1	1	2	4	19			
	5月	1	4					8	2	4												1	3	2	6	26			
	6月		4				1	10		4													3	1	6	3	29		
	7月	1	5					11		4													3	1	2	8	4	33	
	8月		5					13		4													3	1	2	4	12	7	40
	9月		5					18	1	5													3	2	2	14	8	48	
	10月		5					21	4	9													3	2	2	14	7	55	
	11月	2	7					26	1	10													1	4	2	3	17	12	67
	12月		7					30	3	13	1	1											1	5	2	1	18	10	77
対前年 同期比	件数	-2	±0	±0	±0	±0	±0	±0	-1	4	5	±0	3	1	-2	±0	-1	±0	-1	1	1	±0	2	-1	6	3	12		
	百分率	-100.0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	-50.0	-	20.0	±0	30.0	-	-66.7	±0	-100.0	±0	-100.0	-	25.0	±0	-	-50.0	50.0	42.9	18.5		

# 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日確定

北海道労働局

事故の型番号	業種番号										11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99
	1	2	3	4	5	6-2	7-2	その他	起因物番号	計																										
1	墜落・転落	1		9	1						6	17						1	2								1	11								
2	転倒	1		1							1	3							2												1					
3	激突																																			
4	飛来・落下			1								1																					1			
5	崩壊・倒壊	1		3								4																1		1	2					
6	激突され	1		2	1					4	4	12		1				2	1								1		1	6						
7	はさまれ・巻き込まれ	3		1		1				1	1	8		1	1	1		1	2	2																
8	切れ・こすれ																																			
9	踏抜き																																			
10	おぼれ		1	1							2	4																			3			1		
11	高温・低温の物との接触			1								1																			1					
12	有害物等との接触			1								1																1								
13	感電			1								1													1											
14	爆発																																			
15	破裂																																			
16	火災																																			
17	交通事故(道路)			8	11						2	21		1					16	4																
18	交通事故(その他)																																			
19	動作の反動・無理な動作																																			
90	その他			1							1	2	4																					4		
99	分類不能																																			
	合計	7	1	30	13	1				5	2	18	77	5	1	1		4	23	6						1	1	13	1	2	14		4	1		

# 平成28年 署別・業種別死亡災害発生状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日確定

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他 の事業	合計
	製造業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業		
署別													
札幌中央	1			1	2							3	7
札幌東	1				3	1						1	6
函館							1						1
小樽					3	2						1	6
岩見沢	1											1	2
旭川	1				2	2						4	9
帯広	2				4	1						3	10
滝川					1	1						2	4
北見					1					2	1	1	5
室蘭					4							1	5
釧路					3	2							5
名寄					2					1			3
留萌					1								1
稚内					1					1			2
浦河					1	2					1	1	5
苫小牧	1				1	2				1			5
倶知安					1								1
計	7			1	30	13	1			5	2	18	77



# 平成28年 署別・業種別災害発生状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日確定

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製 造 業						鉱 業		建 設 業				交 通 運 輸 事 業	陸上貨物運送事業			港 湾 運 送 業	林 業	水 産 業	商 業		社 会 福 祉 施 設	飲 食 店	清 掃 ・ と 蓄 業	左 記 以 外 の 事 業	対 前 年 比 増 減 率					
		計	食 料 品 製 造 業	木 材 ・ 家 具	紙 ・ 印 刷	窯 業 土 石 製 品	金 属 ・ 機 械	そ の 他 製 造 業	鉱 山	土 石 採 取 業	計	土 木 工 事 業	建 築 工 事 業		木 造 建 築 業	そ の 他 建 設 業	計				道 路 貨 物 運 送 業	陸 上 貨 物 取 扱 業						計	小 売 業	そ の 他 商 業		
札幌中央	1,059	112	45	8	6	2	32	19		1	138	33	57	13	35	71	100	89	11		2	1	194	166	28	85	48	94	213	7.3%		
	1,136	126	55	5	3	1	34	28		3	124	26	66	10	22	73	122	114	8				240	200	40	92	45	94	217			
札幌東	1,374	200	98	5	7	3	49	38			187	48	107	11	21	84	242	219	23				260	198	62	83	48	77	193	-6.0%		
	1,291	215	113	7	8	4	48	35			158	32	80	16	30	87	221	198	23		3		244	191	53	70	34	66	193			
函館	475	134	90	9		4	21	10		3	80	37	28	10	5	17	43	41	2		9	18	52	46	6	28	12	30	49	-1.1%		
	470	122	76	8	1	1	26	10		1	68	21	25	11	11	23	32	31	1		11	21	60	51	9	27	5	29	71			
小樽	182	50	27	3	4		6	10			25	7	10	7	1	6	21	21			1		18	18		9	3	11	38	11.5%		
	203	69	44	6	1	2	6	10			19	13	5	1		8	19	17	2				28	26	2	15	2	10	29			
岩見沢	187	49	16			6	16	11			27	8	12	5	2	4	17	17					23	21	2	10	3	10	40	4.8%		
	196	40	17	2		5	6	10	1		31	14	9	5	3	3	27	27					22	19	3	11	2	12	45			
旭川	484	89	36	16	4	1	16	16		1	85	18	32	17	18	13	51	50	1				69	57	12	24	13	41	91	3.3%		
	500	96	35	19	1	7	16	18			66	15	21	12	18	19	71	66	5				78	62	16	28	10	30	92			
帯広	492	94	65	7	2	2	5	13		8	68	17	38	9	4	9	60	59	1	2	20	6	67	50	17	17	6	21	114	1.0%		
	497	98	64	10		3	14	7		2	70	15	29	16	10	8	57	57			29	5	58	49	9	24	4	18	124			
滝川	178	37	14	7	3	4	7	2		2	37	16	15	5	1	2	14	14			3	1	19	16	3	15	4	11	33	-12.4%		
	156	25	5	3	5	3	3	6		1	41	21	8	9	3	3	13	12	1		3	1	20	17	3	13	2	5	29			
北見	349	73	38	22		5	4	4			55	17	27	9	2	3	31	31					12	27	47	43	4	14	8	17	62	8.3%
	378	81	50	16		3	6	6		1	66	25	24	13	4	4	28	28					26	22	48	35	13	19	5	12	66	
室蘭	197	39	13		1	2	17	6		2	35	11	15	6	3	2	13	12	1				1	3	36	30	6	15	2	13	36	1.5%
	200	28	10	1		2	9	6			35	12	15	4	4	2	16	16					1	1	33	26	7	20	3	12	49	
釧路	545	125	83	9	1	1	12	19		3	95	43	46	3	3	9	54	53	1	2	9	64	51	44	7	25	9	25	74	-5.9%		
	513	130	80	8	1	2	19	20		1	79	21	34	16	8	10	57	54	3	4	10	72	38	34	4	24	6	21	61			
名寄	149	43	25	7		1	4	6			26	8	8	6	4	4	8	8					9	10	13	11	2	5	2	5	24	-10.7%
	133	35	17	8	1	4	2	3		2	29	10	9	9	1	3	9	9					5	3	8	8		3	2	3	31	
留萌	79	8	7				1				19	7	7	3	2		9	9					3	11	8	6	2	3	2	14	-30.4%	
	55	11	10					1		1	10	3		4	3		3	3					1	20	1	1		4		2		2
稚内	88	16	13					3			17	9	3	4	1	1	9	9			1		4	13	5	5		3		5	14	18.2%
	104	21	18	1				2			21	7	7	4	3	2	4	4					7	14	8	6	2	6	1	6	14	
浦河	174	10	5	4		1				1	19	10	5	2	2		2	2					9	16	9	8	1	4	1	1	102	5.7%
	184	11	6	1				4			15	8	4	2	1	2	7	7					5	10	4	3	1	10	1		119	
苫小牧	464	93	35	9	7	6	17	19		3	50	16	24	3	7	14	72	69	3	6	5	3	52	43	9	27	16	25	98	6.5%		
	494	106	30	11	8	9	25	23			54	23	15	4	12	13	84	81	3	5	5	3	64	54	10	24	13	28	95			
倶知安	92	15	12		1	2					29	11	11	5	2		3	3					7	5	2	1	1	2	29	13.0%		
	104	13	9	1			1	2		2	25	4	8	7	6	4	8	8					6	1	6	4	2	6	4		4	25
合計	6,568	1,187	622	106	36	40	207	176		24	992	316	445	118	113	239	749	706	43	12	102	173	930	767	163	368	178	390	1,224	0.7%		
	6,614	1,227	639	107	29	46	215	191	1	14	911	270	359	143	139	264	778	732	46	9	125	176	960	786	174	396	139	352	1,262			
対前年比増減率	0.7%	3.4%	2.7%	0.9%	-19.4%	15.0%	3.9%	8.5%		-41.7%	-8.2%	-14.6%	-19.3%	21.2%	23.0%	10.5%	3.9%	3.7%	7.0%	-25.0%	22.5%	1.7%	3.2%	2.5%	6.7%	7.6%	-21.9%	-9.7%	3.1%			

(注)本統計は死傷病報告による死傷件数である。上段は前年、下段は当年である。

平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日確定

北海道労働局

事故の型番号	業種番号											起因物番号	起因物																												
	1	2	3	4		5		6-2	7-2	その他			11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99			
事故の型	製業	鉱業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	その他の運輸交通業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	その他の事業	計	原動機	動力機械	木材加工機械	建設用機械	金属加工用機械	一般動力機械	車両系木材伐出機械等	動力クレーン等	動力運搬機	乗物	圧力容器	化学容器	溶接装置	炉・窯等	電気設備	人力機械工具等	用具	その他の装置設備	仮設物・建築物・構築物等	危険物・有害物等	材料	荷	自然環境等	その他の起因物	起因物なし	分類不能			
1 墜落・転落	148	1	4	318	216	21	6	5	8	11	378	1116		1	1	25		11	1	15	266	12						3	256	15	408		11	15	76						
2 転倒	297		1	129	136	106	9	1	12	37	1,127	1855				8		6		5	49	43	1		2		2	48	80	22	736		33	29	736	2	53				
3 激突	52		1	53	45	10	1		1	13	146	322	1			11		6	2	4	46	25					20	35	23	89		18	15	24	1	2					
4 飛来・落下	71		3	58	42	4	4	1	30	7	91	311			7	9	5	18		7	16	7					14	47	9	8		74	53	35	1	1					
5 崩壊・倒壊	19		1	28	18				7	1	31	105				1		1			3	3	1				11	7	6	10		17	24	21							
6 激突され	47		1	40	37	7	2		36	12	175	357			7	11	2	13	6	22	27	11	1				38	31	8	12		25	11	119	3	10					
7 はさまれ・巻き込まれ	300		1	91	63	13	10		9	59	215	761		8	21	27	28	193		27	142	53			1	1		48	30	14	44		44	31	49						
8 切れ・こすれ	131			63	11	2	1	1	18	5	180	412			80	1	26	80			2	2					135	18	7	6		32	7	15				1			
9 踏抜き	2				2						2	6									2									1		3									
10 おぼれ			1	1							2	4																							3				1		
11 高温・低温の物との接触	39			3	3	2				3	57	107				1		5		1			2		3	6		4	22	12	2	8	6	3	31	1					
12 有害物等との接触	5			4							4	13													1						11					1					
13 感電	3			3							1	7														1	5			1											
14 爆発	1			2							2	5						1													4										
15 破裂	1			3	1						1	6						1			2		1										2								
16 火災	3										3	6													1					1		4									
17 交通事故(道路)	12		1	52	69	63				3	170	370				3					2	88	270					2			1						4				
18 交通事故(その他)																																									
19 動作の反動・無理な動作	90			60	87	33	13	1	3	23	509	819	1		1	6		8	1	4	20	14					40	28	11	165		25	138	99	9	249					
90 その他	5			3	2	3			1	2	13	29						1									1					1			10	6	10				
99 分類不能	1										2	3																											1	2	
合計	1227	1	14	911	732	264	46	9	125	176	3109	6614	2	9	117	103	61	344	10	87	663	440	6		8	8	7	364	554	129	1482	27	289	328	1223	23	326	4			

# 平成28年 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	1	11時台	パルプ・紙・紙加工品製造業	50人以上99人	崩壊・倒壊	荷	被災者は、古紙保管ヤード内で古紙ペール(古紙を圧縮した直方体で番線結束したもの。)のはい崩しに従事していたが、古紙2個がフォークリフトにより抜き取られ、その後にパレットの片づけ作業で被災者が古紙に近づいた時、11個の古紙が崩壊しその下敷きになったもの。
28	3	11時台	一般機械器具製造業	50人以上99人	激突され	動力クレーン等	被災者は、長さ約8m、幅約20cm、重量約600kgの鉄骨部材の下に垂木を配置するため鉄骨部材の近くで待機していたが、別の作業者が天井クレーンで鉄骨部材をつり上げようと地切りした際、鉄骨部材が横にずれて隣に置いてあった同形状の鉄骨部材に激突し、激突された鉄骨部材が被災者側へ倒れて下敷きとなったもの。
28	4	8時台	パルプ・紙・紙加工品製造業	100人以上299人	はさまれ・巻き込	一般動力機械	被災者は、製紙工場において、抄造中に断紙したため、復旧のため湿紙を取り除く作業を行ったところ、抄造マシンの回転していたロール機の中に挟まれたもの。
28	5	15時台	食料品製造業	50人以上99人	墜落・転落	動力運搬機	被災者は、敷地内の作業道(幅員4.7m)をフォークリフトで後進走行中、路肩から逸脱し、高さ1.8m下の沢へフォークリフトと共に転落し、車体の下敷きとなったもの。
28	7	15時台	金属製品製造業	30人以上49人	はさまれ・巻き込	金属加工用機械	被災者は、普通旋盤を使用して機械器具の部品製造作業において、チャック側の端部の溝切削加工部のバリ取りのため、金属板に取り付けたサンドペーパーを押し当てて研磨作業をしていたところ、身体が巻き込まれたもの。
28	11	15時台	その他の製造業	30人以上49人	はさまれ・巻き込	動力運搬機	被災者は、凍結防止剤散布車の修理点検を行っていたところ、車両後部にある凍結防止剤を投入するホッパー内下部にあるシャフト及びスクリーコンベアに右半身を巻き込まれた状態で発見されたもの。
28	11	5時台	電気・ガス・水道業	10人未満	転倒	環境等	被災者は、浄水場施設の監視業務において、施設の屋外駐車場で転倒し、後頭部を凍結路面に打ちつけたもの。

本件事例については、脳・心臓疾患等によるものは掲載していません。

# 平成28年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	1	13時台	土木工事業	10人以上29人	崩壊・倒壊	環境等	被災者は、斜面下方において斜面に堆積させていた土砂をドラグショベルを使用してダンプに積み込む作業を行ってところ、斜面の土砂が突然崩れ、ドラグショベルが横倒しとなって土砂に埋まり、約2時間半後に救出されたが死亡したものの。
28	1	12時台	建築工事業	10人以上29人	有害物等との接触	危険物、有害物等	マンション新築工事において、廊下のコンクリート壁及び天井に玉吹き塗装を行っていた被災者ら2名が倒れているのを、別の工事業者が発見したものの。窓、戸等の開口部は塗装養生シートで密閉されており、玉吹き塗装にガソリンエンジン式のコンプレッサーを使用していた。
28	2	13時台	その他の建設業	10人未満	墜落・転落	仮設物、構築物等	被災者を含む総勢12名により、屋根上で軒先の雪を屋根下に落としていたところ、屋根上の雪が全て屋根を滑り落ち、12名全員が落雪に巻き込まれ、生き埋めとなったもの。
28	2	13時台	その他の建設業	10人以上29人	墜落・転落	仮設物、構築物等	被災者を含む総勢12名により、屋根上で軒先の雪を屋根下に落としていたところ、屋根上の雪が全て屋根を滑り落ち、12名全員が落雪に巻き込まれ、生き埋めとなったもの。
28	2	12時台	その他の建設業	10人以上29人	交通事故（道路）	建設用等機械	電柱建替工事現場に行くため、事業場から高所作業車を運転し、国道（片側1車線）を走行していたところ、吹雪のため減速運転していた大型トラックに追突したものの。
28	4	15時台	土木工事業	10人以上29人	交通事故（道路）	乗物	被災者は、水道工事現場の道路上において、ランマーを使用して地盤を締め固めていたところ、通行止めの看板及びバリケードを突破してきた乗用車に激突され、停車していた4tダンプカーと当該乗用車との間に挟まれたもの。
28	4	7時台	木造建築工事業	30人以上49人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、会社から工事現場に向かうため4tダンプを運転し道道を走行中、緩い右カーブにおいて道路左側の路外にはみだし横転し、頭を強く打ったもの。現場は片側一車線で、事故当時路面は乾燥していた。

# 平成28年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	5	16時台	建築工事業	10人以上29人	崩壊・倒壊	仮設物、構築物、建築物等	木造2階建ての牛舎解体工事において、解体用つかみ機を用いて1階部分の壁(コンクリートブロック積み)を倒そうとしていたところ、何らかの原因により当該壁が倒れ、退避していなかった被災者が当該壁の下敷きとなったもの。
28	6	14時台	木造建築工事業	10人未満	墜落・転落	仮設物、構築物、建築物等	被災者は、木造2階建ての集合住宅の建築工事現場において、高さ6.8mの屋根上で野地板を張る作業を終えて、屋根から外部足場に移動中に墜落したものの。
28	7	1時台	土木工事業	50人以上99人	交通事故(道路)	乗物	被災者は、道路維持作業において車道の外側線付近で歩車道境界縁石の草取り作業を行っていたところ、走行してきた乗用車に轢かれたもの。
28	8	11時台	その他の建設業	10人未満	高温・低温の物との接触	環境等	被災者は、基礎型枠の解体作業において単管等の資材の受け渡し等の作業中、体調が悪くなってうずくまり、その場に倒れこんだ。救急車により病院へ搬送されたが、その後死亡が確認されたもの。被災時の状況等から熱中症によるものと推定される。
28	8	11時台	建築工事業	10人以上29人	墜落・転落	仮設物、構築物、建築物等	被災者は、枠組足場を先行して組み立てる作業において、同僚と2人で4段目の組立作業中、足場外側の面に筋交いを取り付ける作業を行っていたところ、足場が倒れ同僚とともに墜落したものの。
28	9	19時台	土木工事業	10人以上29人	崩壊・倒壊	環境等	被災者は、台風による大雨の影響で小規模な土砂崩れが発生した国道付近において、大雨が降り続く中、歩道に停車させた車両内から斜面の状況を監視していたところ、土砂崩れが発生して車両ごと土砂に押し流されて海に転落したものの。
28	9	13時台	土木工事業	30人以上49人	墜落・転落	建設用等機械	被災者は、タイヤショベルを運転して盛土した作業用通路(幅員約5.5m、高さ約1m)を後進していたところ、左後輪が路肩から逸脱して転落し、タイヤショベルの運転席フレーム部分の下敷きになったもの。

本件事例については、脳・心臓疾患等によるものは掲載していません。

# 平成28年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	9	13時台	土木工事業	10人以上 29人	激突され	動力クレーン等	被災者は、浮きクレーンのジブを定位置に置くため、同僚と船上でフックを横置きする作業を行っていたところ、ジブに沿って格納していた補巻フック用ワイヤーが、浮きクレーンのジブを下げた際に緊張したことにより、補巻フック用ワイヤーを固定したクレーン上部旋回体下部の取付金具が破断し、外れた補巻フック用ワイヤーが約30m先のフック付近にいた被災者に激突したものの。
28	9	9時台	建築工事業	10人未満	墜落・転落	仮設構築物、建築物等	被災者は、学校のプールの屋根に取り付けられているビニールテントをはがす作業において、ビニールテントをはがした後に親綱を取り外す作業に取り掛かるようとしたところ、鉄骨梁(高さ約3.6m)からコンクリートのたたきに墜落したものの。
28	10	14時台	土木工事業	10人以上 29人	激突され	環境等	被災者は、橋台の建設工事において施工範囲内にある支障木の撤去作業中、傾斜地に生えた白樺の木をチェーンソーを用いて伐倒していたところ、突然、木が縦に裂けて元口が跳ね上がって被災者に激突し、被災者が跳ね飛ばされて地面に倒れたところへ裂けた木が倒れ下敷きとなったもの。
28	10	7時台	建築工事業	10人未満	交通事故(道路)	乗物	被災者は、事業場から乗用車の後部座席に同乗し工事現場へ向かう途中、乗用車が前方車両を追い越した際にスリップし、道路左側の路外に逸脱して電柱に衝突したものの。運転者と助手席の同乗者も負傷した。現場は片側1車線の直線道路で、事故当時小雪が降っていて路面はシャーベット状であり、タイヤはスタッドレスタイヤであった。
28	10	7時台	土木工事業	30人以上 49人	おぼれ	分類不能	被災者は、道路建設工事において、朝の作業打ち合わせ前に現場状況の確認作業へ向かった後、打ち合わせ場所に戻ってこなかったため当該事業場の作業員が探しに行ったところ、横断管施工箇所(の呑口)に設置した水中ポンプにうつ伏せ状態で溺水により倒れているところを発見されたもの。
28	11	19時台	建築工事業	10人以上 29人	交通事故(道路)	乗物	被災者は、建設工事現場での作業を終え、会社に戻る社有車の後部座席に乗車していたところ、乗車していた社有車が片側1車線の道路のカーブで路外に逸脱して横転し、車外に投げ出されたもの。
28	11	11時台	土木工事業	30人以上 49人	墜落・転落	動力クレーン等	被災者は、急斜面の維持管理工事において、斜面上で伐木した樹木を移動式クレーンの補巻きフックに玉掛けて地上に降ろす作業に当たって、同クレーンの運転手に合図を送るため主巻きフックに玉掛けした専用の搬器に搭乗していたところ、高さ約13mから搬器と共に墜落したものの。

# 平成28年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	11	14時台	建築工事業	10人以上 29人	転倒	動力運搬機	被災者は、太陽光発電の工事現場において、高台にある資材置き場に停車していたフォークリフトを約1km先にある別の資材置き場に移動させるため、フォークリフトを空荷状態で勾配11度のアスファルト舗装された直線の私道を前進で下っていたところ、フォークリフトがバランスを崩して横転して運転席から投げ出され、フォークリフトの下敷きとなったもの。
28	11	12時台	建築工事業	10人未満	感電	電気設備	被災者は、家屋解体工事において、同僚4名とくさび緊結式足場(一側足場、5層)の組立作業に従事していたところ、5層目の足場コーナー部で手すりの設置作業中、足場上を斜めに横断していた送電線(6,600V)に触れて感電したものの。
28	12	10時台	建築工事業	10人以上 29人	墜落・転落	建設用等機械	被災者は、RC造4階建の住宅解体工事において、1か所に集めた屋根の木材を車両系建設機械(解体用つかみ機)で下ろす作業中、つかみ機のバケットが被災者が安全帯を掛けていた親綱に引っ掛かり、バケットを引いた際に引っ張られて約12m墜落したものの。
28	12	8時台	その他の建設業	10人未満	墜落・転落	仮設物、構築物、建築物等	被災者は、タンク内に組まれた足場上で、塗装の準備作業として内壁の結露を拭き取る作業を行っていたところ、足場の開口部からバランスを崩して13.75m下のタンク底部に墜落したものの。
28	12	8時台	土木工事業	10人未満	交通事故(道路)	動力運搬機	被災者は、建設工事現場に向かうため、道道をラフタークレーン(つり上げ荷重25トン)を運転して走行していたところ、対向車線をはみ出したダンプトラックがラフタークレーンの運転席に衝突したものの。事故当時、道路上はブラックアイスバーン状態であった。
28	12	10時台	土木工事業	30人以上 49人	飛来・落下	環境等	被災者は、チェーンソーを使用して河川敷の支障木等の処理作業中、広葉樹(高さ7m、胸高直径23cm)を伐倒しようとして追い口を切っていたところ、折れてぶら下がっていた枝(根元直径14cm、長さ7m、重量3~40kg程度)が、高さ5.7mの箇所から頭部に落下したものの。
28	11	15時台	建築工事業	10人以上 29人	はさまれ・巻き込まれ	動力運搬機	被災者は、建築物の解体工事現場において、ダンプトラックの前方で当該ダンプトラックの前輪を洗浄していたところ、当該ダンプトラックが発進したため轢かれたもの。

# 平成28年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	9	5時台	建築工事業	10人未満	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、自宅に迎えに来た同僚が運転する社有車の後部座席に乗り、会社に向かっていたところ、交差点でダンプトラックと衝突し死亡した。被災者らは会社に集合した後、建設工事現場に行く予定であった。



# 平成28年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発生年	発生日	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	2	7時台	道路貨物運送業	10人未満	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、排雪作業を行うためダンプトラック3台で片側1車線の国道を走行中、先頭を走行していた被災者のダンプトラックが右カーブに差し掛かった時、路肩に立っていた電柱に激突して横転した。路面は乾燥していた。
28	3	10時台	道路貨物運送業	30人以上49人	激突され	仮設構造物、建築物、建築物	被災者は、事業場の交通安全旗の金属製ポールが古くなって錆びていたため撤去作業中、トラクターショベルのバケットに乗り、高さ約6mの位置に繊維ベルトを掛けて地上に降りた後、被災者が繊維ベルトを引っ張ったところポールが倒れ、被災者の頭部に当たったもの。
28	5	4時台	道路貨物運送業	30人以上49人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者がトラックを運転して国道を走行中、被災者のトラックが中央線を越えて対向車線にはみ出し、対向車線を走行していたトラックと正面衝突したもの。
28	10	7時台	道路貨物運送業	10人以上29人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、農場で大根をトレーラーに積み込み、フェリーターミナルに向かってトラックを運転中、右カーブを曲がりきれずにガードロープを超えて約10m下の沢に転落したもの。
28	10	3時台	道路貨物運送業	10人以上29人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、トラックを運転して道央自動車道を札幌方向に向かって走行していたところ、対向車線を走行してきたトラックがセンターラインを超えて反対車線にはみ出し正面衝突した。同乗していた労働者も死亡した。（2名死亡）
28	10	3時台	道路貨物運送業	10人未満	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、トラックを運転して車道を函館方向に向かって走行していたところ、センターラインを超えて反対車線にはみ出し、対向車線を走行してきたトラックと正面衝突したもの。
28	5	11時台	道路貨物運送業	10人未満	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、回送するトラックを運転して回送先に向かっていったとき、交差点で赤信号のため停車しようとして減速していたトレーラーに追突したもの。

# 平成28年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	11	8時台	道路貨物運送業	10人以上29人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、生コン車で生コンクリートを運搬するため、生コンクリート工場から建設工事現場へ向かって直線道路を走行していたところ、アイスバーンの路面でスリップして対向車線にはみ出し、路外逸脱したものの。
28	12	6時台	道路貨物運送業	30人以上49人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、トラックを運転して配送先に向け国道を走行していたところ、右カーブで対向車のトラックが中央車線をはみ出してきて、左側に避けようとしたが避けきれずに衝突したものの。
28	12	6時台	道路貨物運送業	10人以上29人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、事業場より家畜運搬車を運転し、荷主先に向かって国道を走行していたところ、凍結路面の左カーブで対向車線にはみ出し、対向してきたトラックと衝突したものの。
28	12	11時台	道路貨物運送業	10人以上29人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、会社敷地内の除雪作業において、排雪のため漁港をトラックで走行中、誤って海にトラックごと転落し、海面を浮いているところを発見されたが、溺死したものの。
28	9	11時台	道路貨物運送業	10人以上29人	墜落・転落	動力運搬機	被災者は、荷卸し先事業場の付近の道路上において、積荷である麦藁の上で、麦藁を覆っていたビニールシートを引き上げて畳む作業中、足を引っ掛けて約4m下のアスファルト路面に墜落したものの。

# 平成28年 林業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	3	11時台	林業	10人未満	激突され	環境等	被災者は、皆伐作業現場で単独にてチェーンソーを用いて伐倒作業をしていたが、被災者が休憩時間になっても土場に戻らなかったため同僚が様子を見に行ったところ、木の下敷きとなっている被災者を発見した。被災者が下敷きとなった伐倒木は、胸高直径43cm、高さ31mのカラマツであった。
28	3	13時台	林業	10人未満	はさまれ・巻き込	建設用等機械	被災者と同僚2名がブルドーザーの運転席以外の場所に乗車し、土場から作業現場まで移動した後、作業現場に到着した当該ブルドーザーが帰路に向けて方向転換するために旋回し後退した時、ブルドーザー後部(ウインチ部)に乗車していた被災者が、後退中のブルドーザーに轢かれたもの。
28	5	10時台	林業	10人未満	激突され	環境等	風倒木除去処理の林業現場において、被災者が風倒木(トドマツ・樹高24.16m)の下敷きになっているのを発見した。被災者の倒れていた場所近くには伐根(トドマツ)があり、その伐倒先には当該伐根から切り離された伐倒木(長さ25.38m)があった。
28	11	10時台	林業	10人未満	激突され	環境等	被災者は、私有林の間伐作業において、一人でトドマツ(樹高約18m、胸高直径48cm)を伐倒後、当該伐倒木の上で枝払い等の作業中、隣木のトドマツ(樹高約16m、胸高直径24cm)が被災者の方に徐々に倒れ、伐倒木との間に挟まれたもの。
28	12	10時台	林業	10人以上29人	激突され	環境等	被災者は、民有林の間伐する現場において、伐倒木(トドマツ、樹高17.74m、胸高直径28.3cm)の下敷きになっているのを現場責任者に発見されたもの。被災者の傍らには伐根があり、この伐根から切り倒されたトドマツ(樹高約18m、胸高直径44.26cm)があった。

## 平成28年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	2	9時台	農業	10人未満	墜落・転落	仮設物、構築物、建築物等	被災者は、同僚と2名でD型倉庫屋根に上り除雪作業をしていたところ、屋根板を踏み抜き、倉庫内に約5.7m墜落したものの。
28	2	5時台	その他の事業	100人以上299人	墜落・転落	仮設物、構築物、建築物等	被災者は、ビルの守衛業務を朝9時から24時間行う予定であったが、翌朝、出社してきた同僚が踊り場に倒れている被災者を発見したものの。階段を踏み外して踊り場に転落し、壁に頭を打ち付けたものと推定される。
28	4	7時台	畜産業	10人未満	激突され	荷	被災者は、他の労働者と車両系建設機械のバケットを小型移動式クレーンを用いてトラックの荷台へ積込む作業中、他の労働者が小型移動式クレーンを運転して地切りした際、バケットの重心が移動してバケットが回転したため、バケット付近にいた被災者の足下がすくわれると同時にバケットからフックが外れ、バケットとともに被災者が用水路へ転落し、用水路の法面と当該バケットの間に挟まれたものの。
28	4	8時台	小売業	30人以上49人	はさまれ・巻き込	動力クレーン等	被災者は、1階から2階に上昇していたエレベーターが途中で停止したため、エレベーターの動力を切り、2階の昇降路の扉を開け、上半身だけ搬器に入り、停止した原因である積み荷の引っ掛かりを取り外していたところ、搬器が落下したため、搬器の天井と2階の床先との間に挟まれたものの。
28	5	17時台	その他の事業	10人以上29人	おぼれ	環境等	被災者は、一般廃棄物処理場で、事業場と電話で話をしたのを最後に行方不明となり、翌々日に捜索した結果、処理場内の調整池(水深約1.8m)に沈んでいるのが発見されたもの。死因は水死と判定された。
28	6	15時台	土石採取業	10人未満	おぼれ	環境等	被災者は、事業場の砂利採取場において砂の採取業務に従事中、砂を掘削した箇所に溜まった湧水(水深2.65m)に転落し溺死したものの。被災者は、湧水が溜まった箇所から離れた位置で、ドラグ・ショベルでダンプトラックへ砂の積み込み作業を行っていたが、姿が見えなくなったことから水中を捜索したところ発見された。
28	7	10時台	畜産業	10人以上29人	転倒	動力運搬機	被災者は、農業用トラクターにより牧草ロール1個(重量約450kg)を運搬するため、農業用トラクターを運転して農道を下っていたところ、農道から逸走して横転し、運転席から投げ出された状態で同僚に発見されたもの。

## 平成28年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	8	13時台	社会福祉施設	10人以上 29人	おぼれ	環境等	被災者は、施設入居者の川遊び行事のため遠浅の川岸で児童らと昼食中、川岸に置いていたビニール製の子供用ボートが川に流されたため、咄嗟に川に入りボートを追い掛けたところ、深みにはまり溺れたもの。
28	8	1時台	その他の事業	100人以上 299人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、河川の水量調査を実施後、同僚2名と社用車（ピックアップトラック）に乗車して移動中、台風による増水により崩落していた橋の橋台付近から車ごと川に転落したもの。同僚2名は自力で脱出したが、運転していた被災者が行方不明となり、その後の捜索の結果、転落場所から数百m下流において遺体で発見された。
28	8	7時台	水産業	10人以上 29人	はさまれ・巻き込まれ	乗物	被災者は、漁船で定置網を海中に戻す作業中、甲板上で定置網に取り付けられたロープを結んでいたところ、漁船が後進してロープによって甲板上を引きずられ、ロープと船上の柱（たち）に挟まれたもの。
28	8	12時台	教育・研究業	10人以上 29人	墜落・転落	仮設構造物、建築物等	被災者は、車庫に併設されている倉庫の屋根の一部が剥がれていたため、同僚と2名で屋根の状況を確認するため、屋根に上がり剥がれている箇所に向けて歩いていたら、スレートを踏み抜き3.7m下の床に墜落し、頭部を強く打ちつけたもの。
28	9	7時台	畜産業	10人以上 29人	激突され	環境等	被災者は、放牧地から馬を集牧するため、同僚3人とそれぞれ2頭の馬を引き連れ厩舎に向かって縦に並び歩いていたところ、被災者の後方を歩いていた馬4頭が急に何かに驚いて前に走り出し、集団で被災者に突っ込んだことにより、頭を路面に打ち付けるなどしたもの。
28	8	8時台	農業	10人未満	墜落・転落	用具	被災者は、個人住宅の庭木の伐採作業において、庭木に立て掛けたアルミ製のはしごの上でチェーンソーで枝払いを行った後にはしごから降りようとしたところ、高さ約2mの箇所から地面（砂利）に墜落したもの。
28	4	10時台	水産業	10人未満	その他	起因物なし	被災者は、つば籠漁船において操業中、同僚が船上で胸を押さえて倒れている被災者を発見したため、操業を切り上げ帰港し救急搬送したものの、急性心筋梗塞で死亡したもの。

## 平成28年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	9	16時台	小売業	30人以上 49人	墜落・転落	仮設物 構築物等 建築物	被災者は、個人住宅へ夕刊を配達中、雨で濡れた住宅の階段上で足を滑らせ仰向けの状態で転落して頭部を強打し、気を失っていたところを外出から帰宅した住人に発見され、医療機関で治療を受けていたがその後死亡したものの。
28	11	21時台	その他の事業	100人以上 299人	墜落・転落	仮設物 構築物等 建築物	被災者は、ダム管理所の夜間警備及び情報連絡業務を単独で行っていたが、午後9時30分頃、施設管理者の担当者に停電通知メールが自動送信されたため、原因調査のために当該担当者が午前0時10分頃にダム管理所を訪れたところ、玄関横に倒れている被災者を発見したものの。屋上に設置されたアンテナを点検していたところ停電となり、屋上から地上まで8.45m墜落したものと推定される。
28	11	14時台	その他の接客娯楽業	10人以上 29人	激突され	動力運搬機	被災者は、ゴルフ場において、一人で停車中の散水車後部に取り付けられている散水タンクを取り外すため、車体底部にもぐりこんで作業中、散水タンクが脱落し激突されたものの。
28	11	11時台	小売業	10人未満	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、道道をタンクローリー車を運転して走行していたところ、何らかの原因でセンターラインを超えた状態のまま走行し、対向車線を走行していた大型ダンプトラックの運転手がセンターラインを超えた状態で走行しているタンクローリー車に気付いて急ブレーキをかけて停車したが、タンクローリー車が大型ダンプトラックに正面衝突したものの。
28	12	17時台	鉄道・航空業・水	100人以上 299人	はさまれ まれ・巻き込	乗物	被災者は、ロープウェイの山麓駅の上にある走行レール付近に上がり、曳索用の滑車からはみ出したグリースの除去作業を行っていたところ、営業運転中のゴンドラが進入して来て、ゴンドラの懸垂元の走行車輪フレームと緩衝器との間に腰から大腿部をはさまれたものの。
28	12	18時台	その他の商業	10人未満	激突され	建設用等機械	被災者は、雪捨て場において、ダンプトラックにて雪を運び込み排雪後、ダンプトラックから降車していたところ、雪ならしのため後進してきたトラクターショベルの右後方部に激突されたものの。